

平成 1 8 年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
1 - (1)	まちづくり推進事業	地域振興課

1 事業の概要

目的及び 事業内容	<p>区民が自ら地域の課題について話し合い、区民意見を取り入れ、合意形成を図るとともに、区民と行政の協働によるまちづくりを推進する。 全体会と3つの部会（さいわいまちづくり楽校部会、ご近所の底力！まちの改善部会、ふるさと部会）を設置して取組を図る。</p>			
	新規（	当初予定事業	追加事業）	継続（平成12年度から）
予算額	4,171,000 円	決算見込額	3,906,445 円	

2 事業の成果等

実施結果 及び成果	<p>まちづくり推進委員会の全体会を開催（14回）して、部会間の連携と取組の進行管理を行った。 「さいわいまちづくり楽校部会」、「ご近所の底力！まちの改善部会」、「ふるさと部会」では、（仮称）眺望公園のデザインワークショップへの参加を通じた市民活動のあり方の検討、地域の防災力を高めるための冊子の企画・編集、地域の歴史を活かしたまちづくりを推進するための歴史ガイドブックの作成や歴史ガイドサインの設置場所の検討にそれぞれ取組んだ（各部会とも12回開催）。 第3期まちづくり推進委員会での2年間の活動の総括として、19年3月に幸市民館で「まちづくりフォーラム」を開催した（参加者約60人）。</p>		
	 <p style="text-align: center;">まちづくりフォーラム</p>	 <p style="text-align: center;">まちづくり楽校部会</p>	

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題（平成19年度実施及び20年度計画策定の方向）
見直し・改善の上継続 平成19年度終了見込み 終了（平成18年度終了）	第3期まちづくり推進委員会の成果を踏まえて、平成19年度に立ち上げる第4期まちづくり推進委員会が設定する具体的な取組事項に則り、区民と行政の協働によるまちづくりを推進する。

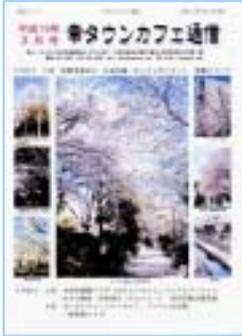
平成18年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
1 - (2)	市民活動支援事業	地域振興課

1 事業の概要

目的及び事業内容	<p>幸区内で営利を目的としない自主的な社会貢献活動を行っている区民や団体を支援するため、打合せ、印刷作業、交流等の場や情報提供の機能を提供する、区役所庁舎内の「市民活動支援コーナー」の管理運営を行う。 また、幸区河原町に設置している、区における市民活動支援拠点「幸市民協働プラザ」の運営を行う。</p>		
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成10年度から)
予算額	4,113,000 円	決算見込額	3,602,282 円

2 事業の成果等

実施結果及び成果	<p>区役所庁舎内の「市民活動支援コーナー」は、平成19年3月末現在で利用登録団体は104団体となった。平成17年3月末の82団体と比較すると、利用登録団体は14%増加している。 「幸市民協働プラザ」は平成19年3月末現在で利用登録団体は13団体である。オープン初年度でもあり、知名度をアップするため、「市民活動支援コーナー」利用登録団体への案内送付や案内看板の設置など、施設の一層の周知を図った。 「さいわいコミュニティサイト」は、一日平均2,000件を超えるアクセスがあった。</p>		
	 地域交流フォーラム	 幸タウンカフェ通信	

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題 (平成19年度実施及び20年度計画策定の方向)
見直し・改善の上継続 平成19年度終了見込み 終了 (平成18年度終了)	<p>幸市民協働プラザの周知と利用促進を行う。 全市的なポータルサイトが検討されており、関係局とも調整を行い、コミュニティサイトの位置づけ・活用促進を検討する。</p>

平成18年度幸区協働推進事業 実施結果

番号	事業名	所管課
1 - (3)	シニアITリーダー養成推進事業	地域振興課

1 事業の概要

目的及び事業内容	<p>概ね50歳以上の中高年(シニア)を対象として、ITリーダーを養成する講習会を開催することにより、高齢者になっても社会とつながりあえる区づくりを推進する。</p> <p>また、ITを活用した様々な情報収集及びコミュニケーション手法の拡充などによる、シニアの市民活動や地域活動への参加促進につなげる。</p>		
	新規(当初予定事業)	追加事業)	継続(平成 年度から)
予算額	316,000 円	決算見込額	192,400 円

2 事業の成果等

実施結果及び成果	<p>平成19年2月、幸市民協働プラザを会場に5日間の講習会を実施した(定員10名、応募者29人。抽選)。</p> <p>定員に対して約3倍の応募があり、シニアのIT技能への意識・関心の高さが示された。受講者はパソコン初心者が多かったことから、講習内容がリーダー養成に至るレベルまでのプログラムとはならず、シニアITリーダー養成までには至らなかった。</p>		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">幸市民協働プラザでの講習会</p>		

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題(平成19年度実施及び20年度計画策定の方向)
見直し・改善の上継続 平成19年度終了見込み 終了(平成18年度終了)	シニアのIT技能に対する関心は高いことから、シニアの市民活動や地域活動への参加促進につなげるという事業の目的に照らして、事業内容の変更、募集対象・募集方法、費用対効果などを検討する。

平成 18 年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
2 - (1)	音楽のまち推進事業	地域振興課

1 事業の概要

目的及び 事業内容	<p>区役所ロビーで気軽に楽しめる定期コンサート「夢こんさあと」や、若者を中心とした演奏者に音楽活動の場を提供する「街かどコンサート」などを開催することにより、区民が身近な場所で音楽に親しめる環境をつくり、「音楽のまち・かわさき」を推進する。</p>		
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成 9 年度から)
予算額	2,300,000 円	決算見込額	2,187,487 円

2 事業の成果等

実施結果 及び成果	<p>幸区役所ロビーで 6 回、日吉合同庁舎で 2 回、ラゾーナ川崎プラザソルで 1 回開催し、毎回 200 名前後の来場があった。 街かどコンサートは、4 回実施した。出場希望者は第 1 回の 4 組から第 4 回は 21 組、来場者数も第 1 回の 76 人から第 4 回の 195 人と着実に増加した。来場者アンケートでは 90% が好評価としている。</p>	
	 <p style="text-align: center;">夢こんさあと (日吉合同庁舎)</p>	 <p style="text-align: center;">街かどコンサート</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題 (平成 19 年度実施及び 20 年度計画策定の方向)
<p>見直し・改善の上継続 平成 19 年度終了見込み 終了 (平成 18 年度終了)</p>	<p>より多くの区民に親しんでもらえるよう検討する。 より達成度が客観的に測れるよう、事業ごとにアンケートを実施するなど指標の設定を検討する。</p>

平成 18 年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
2 - (2)	さいわいテクノ塾事業	地域振興課

1 事業の概要

目的及び 事業内容	科学技術関係機関やものづくり関連施設が集積した幸区の特徴を生かし、区内の施設を活用して、科学技術体験教室「さいわいテクノ塾」を開催することにより、青少年がものづくりの基礎となる科学技術を体験的に学ぶとともに地域と施設との結びつきを図るきっかけとする。		
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成 17 年度から)
予算額	2,008,000 円	決算見込額	998,187 円

2 事業の成果等

実施結果 及び成果	18 年 8 月、9 月、小学生を対象に東芝科学館で科学実験教室を実施し、のべ 48 人の児童が参加した。 19 年 3 月、小・中学生を対象に産業振興会館でロボット作製体験教室を実施し、18 チーム 70 人の児童・生徒が参加した。 東芝科学館でのアンケート結果では、76%の参加者が「また参加したい」と評価しており、区内の小中学生に科学技術への関心を抱かせるとともに、各施設への理解を深めた。		
			科学実験教室 (東芝科学館)

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題 (平成 19 年度実施及び 20 年度計画策定の方向)
見直し・改善の上継続 平成 19 年度終了見込み 終了 (平成 18 年度終了)	対象者を小中学校生から、その親や一般の大人に広げること を検討する。 区内立地企業の区外の施設を活用した実施を検討する。 公募に加え学校単位での参加など、より一層の学校との連携を 検討する。

平成 1 8 年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
2 - (3)	さいわい動物愛護推進事業	衛生課

1 事業の概要

目的及び事業内容	<p>こども向けの動物愛護啓発小冊子を作成・配布することで、こどもたちの心に命の尊さの意識を育むとともに、動物の愛護、適正な取扱い、遺棄の予防など、終生飼いつけることの重要性について啓発を行う。また、動物の飼い主に対して、リーフレットや糞取り袋を配布することにより、飼い主のモラルの向上を図る。</p>		
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成 1 7 年度から)
予算額	590,000 円	決算見込額	558,368 円

2 事業の成果等

実施結果及び成果	<p>動物愛護小冊子「ワンコからのてがみ」を作成した(7,000部)。区内小学校1年生に配布するとともに、区内の動物病院(5か所)や区民祭などのイベントで配布した。動物の適正な飼養を普及啓発するリーフレット(5,000部)、糞取り袋(1,500袋)を配布した。 また、18年8月、19年2月に動物愛護講習会を開催した(のべ39人参加)。アンケートでは90%の参加者から受講して良かったと回答が寄せられた。</p>	
	 <p>動物愛護講習会</p>	 <p>ワンコからのてがみ</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題 (平成 19 年度実施及び 20 年度計画策定の方向)
見直し・改善の上継続 平成 19 年度終了見込み 終了 (平成 18 年度終了)	動物の飼い主の飼養管理のモラル向上を図る啓発を検討する。

平成 18 年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
2 - (4)	矢上川ガイドパネル事業	地域振興課

1 事業の概要

目的及び 事業内容	区民に身近な矢上川とのふれあいを通じて、地域の自然に関する意識を高め、幸区の環境についての理解を深めるため、矢上川に生息する動植物等を紹介するガイドパネルを矢上川沿いに設置する。			
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成 年度から)
予算額	1,439,000 円	決算見込額	1,155,000 円	

2 事業の成果等

実施結果 及び成果	<p>平成 15 年度から平成 17 年度に渡って実施した「さいわいりバーウォッチング事業」の成果を踏まえて、矢上川沿いの鷹野大橋及び矢上橋付近の 2 か所にガイドパネルを設置した。</p> <p>「さいわいりバーウォッチング実行委員会」との協働により、掲示内容の検討を行い、矢上川に生息する動植物の解説、流域図、地域の歴史、周辺案内図、区の環境事業の紹介などの情報を盛り込んだ。</p>	
	 <p style="text-align: center;">ガイドパネル (矢上橋付近)</p>	 <p style="text-align: center;">ガイドパネル (鷹野大橋付近)</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題 (平成 19 年度実施及び 20 年度計画策定の方向)
見直し・改善の上継続 平成 19 年度終了見込み 終了 (平成 18 年度終了)	河川管理者 (国土交通省) や地域の環境保全団体とガイドパネルの活用を図る。

平成18年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
2 - (5)	地域の魅力発掘事業 (第3期まちづくり推進委員会の取組み)	地域振興課

1 事業の概要

目的及び 事業内容	<p>歴史を中心とした幸区の魅力を発掘する実践活動を行ってきた「まちづくり推進委員会ふるさと部会」の活動成果を踏まえ、区内の史跡等を巡る歴史散策路を紹介するガイドブックを作成する。また、史跡・古道にモニユメントの設置を行う。</p>			
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成 年度から)
予算額	1,524,000 円	決算見込額	1,407,000 円	

2 事業の成果等

実施結果 及び成果	<p>歴史ガイドブック「親子で歩こうさいわい」(10,000部)の作成と、歴史ガイドサイン(5基)の設置を行い、幸区の魅力を発掘した。 また、歴史ガイドブックは、ふりがなを付けることで、小学校の児童にも活用できるようものとした。</p>	
	 <p style="text-align: center;">親子で歩こうさいわい</p>	 <p style="text-align: center;">歴史ガイドサイン</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題 (平成19年度実施及び20年度計画策定の方向)
見直し・改善の上継続 平成19年度終了見込み 終了 (平成18年度終了)	他の事業の中で、引続き、地域の魅力を知り、地域資源を活用した取組みを進める。

平成18年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
2 - (6)	環境共生のまちづくり事業	生涯学習支援課

1 事業の概要

目的及び事業内容	日吉地区を中心に、自然・環境・歴史・文化等の様々な分野で活動している地域の団体がネットワークをつくり、関係行政機関等と連携して、地域資源を活用した身近なまちづくりに取り組む。			
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成 年度から)
予算額	200,000 円	決算見込額	80,000 円	

2 事業の成果等

実施結果及び成果	<p>自然・環境・歴史・文化・子育ての分野で活動している5つの市民グループによってネットワークをつくり、準備会を7回開催した。</p> <p>また、学習プログラムを設定し、エコツアーやエコミュージアム学習会を実施したが、シンポジウム、交流会等の一部プログラムの実施には至らなかった。</p>	
		
エコツアー・矢上川下流域のタカラモノ探し		

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題 (平成19年度実施及び20年度計画策定の方向)
見直し・改善の上継続 平成19年度終了見込み 終了 (平成18年度終了)	19年度事業終了を見込んでいるが、各団体の横のつながりをつくり、展開する取組みについて引き続き検討する。

平成 1 8 年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
2 - (7)	地域資源の活用・区の魅力づくり・魅力発信事業	総務企画課

1 事業の概要

目的及び 事業内容	幸区内の優れた人材や施設などの地域資源を区民に知ってもらい、親しんでもらうことで、保健福祉事業の啓発や区の魅力づくり・魅力発信を行う。		
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成 年度から)
予算額	247,000 円	決算見込額	229,440 円

2 事業の成果等

実施結果 及び成果	<p>平成 18 年 10 月の幸区民祭では川崎フロンターレと連携して親子フットサル教室等(親子フットサル教室は 22 組、小学生を対象としたフットサル教室は約 40 人参加)を開催、幸区出身サッカー選手との交流(サイン会に約 200 人参加)健康体操教室(約 20 人参加)の開催、健康づくり P R パネルの展示を行った。</p> <p>また、平成 19 年 2 月、子育てフェスタでは区内で練習を行っているトランポリン競技選手との親子体操教室(親子約 100 人が参加)を行った区民祭で実施した。</p>	
	 <p style="text-align: center;">親子フットサル教室</p>	 <p style="text-align: center;">親子体操教室</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題 (平成 19 年度実施及び 20 年度計画策定の方向)
見直し・改善の上継続 平成 19 年度終了見込み 終了(平成 18 年度終了)	幸区民祭での川崎フロンターレと幸スポーツセンターとの連携による区民とのふれあいイベントの継続など、関係部署との連携による地域資源の活用を定着させる方向性が明らかになったので、協働推進事業としては終了を見込む。

平成 18 年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
2 - (8)	親子ふれあいコンサート事業 (音楽のまち推進事業)	地域振興課

1 事業の概要

目的及び事業内容	子どもたちに音楽に親しむ機会を提供し、「音楽のまち・かわさき」の土壌を育てていくため、コンサートを開催する。		
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成 年度から)
予算額	1,628,000 円	決算見込額	1,485,530 円

2 事業の成果等

実施結果及び成果	<p>平成 19 年 2 月、未就学児とその保護者を対象として、親子で楽しめる歌をコンセプトとしたコンサートを実施した(2回、のべ 350 人参加)。 来場者アンケートでは「楽しかった」とする好意的な評価が 90%を占めた。また、実施場所は、新しく完成した施設を紹介することで幸区の新しい魅力を発信するとの趣旨から、平成 18 年 10 月にオープンしたラゾーナ川崎プラザソルとした。</p>	
		 <p style="text-align: center;">親子ふれあいコンサート(ラゾーナ川崎プラザソル)</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題(平成 19 年度実施及び 20 年度計画策定の方向)
見直し・改善の上継続 平成 19 年度終了見込み 終了(平成 18 年度終了)	音楽のまち推進事業などの中で、出張コンサートなど多様な場所での実施、週末や夕方の時間帯での開催など、家族や親子で楽しめる取組みを検討する。

平成18年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
3 - (1)	花と緑のさいわい事業	地域振興課 建設センター工事課

1 事業の概要

目的及び 事業内容	<p>小・中学校やボランティアグループ「さいわい花クラブ」による公共花壇の花植えなど、区民が行う緑化活動や花と緑のうるおいあるまちづくりを支援することにより、緑化意識の高揚と明るい区づくりを推進する。 また、道路敷などの市有地を活用した緑豊かな環境づくりに取り組む。</p>		
	<input type="checkbox"/> 新規 (<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 追加事業) <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成13年度から)		
予算額	10,454,000 円	決算見込額	8,821,765 円

2 事業の成果等

実施結果 及び成果	<p>地域の緑化活動団体を支援するため、花苗などの提供を行った（18年11月に15団体、花苗4,300株、花種15袋、培養土1,100ℓ。19年3月に12団体、花苗3,300株、花種10袋袋、培養土1,000ℓ）。</p> <p>区庁舎前花いっぱい事業（18年6月、11月、19年3月開催、各回12～15人参加）、あおぞら花市開催事業（18年10月開催、60人参加）、公共花壇花植え事業（18年6月、11月、12月開催、各回約100人参加）、地域での緑化活動のリーダー育成を目的とした花と緑のエキスパート事業（18年5月～6月「花のまちづくり講座」開催、16人参加）を実施した。</p> <p>また、道路敷を活用した花壇を整備するなど身近な緑の創設に取り組んだ。</p>		
			<p>大師堀の花植え</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題（平成19年度実施及び20年度計画策定の方向）
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 平成19年度終了見込み <input type="checkbox"/> 終了（平成18年度終了）	<p>より客観的に達成度が測れるよう、アンケートを実施するなど指標の設定を検討する。</p> <p>道路敷に設置した花壇等の維持管理は地域の協力による方法を検討する。</p>

平成18年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
4 - (1)	さいわいガイドマップ改訂・増刷事業	地域振興課

1 事業の概要

目的及び 事業内容	幸区の地理や公共施設、医療機関の一覧など区民生活に必要な基礎的な情報を提供するため、幸区への転入者を主な配布対象者とする「さいわいガイドマップ」を改訂・増刷する。			
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成2年度から)
予算額	956,000 円	決算見込額	827,400 円	

2 事業の成果等

実施結果 及び成果	さいわいガイドマップを増刷した(1万部)。また、川崎駅西口地区や新川崎地区の再開発の現況に合わせて情報更新を行った。		
		さいわいガイドマップ	

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題 (平成19年度実施及び20年度計画策定の方向)
見直し・改善の上継続 平成19年度終了見込み 終了(平成18年度終了)	改訂にあたっては、ホームページアドレスやQRコードの記載を検討する。

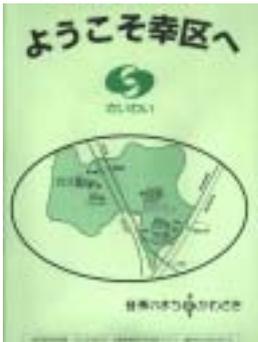
平成18年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
4 - (2)	区民に身近な区役所づくり推進事業	区民課等

1 事業の概要

目的及び 事業内容	区民に身近な区役所づくりを推進するため、利用者である区民の視点に立った窓口サービスを向上させる取組を行う。(総務企画課、区民課、市民税課、地域保健福祉課、保健福祉サービス課、衛生課、保険年金課)		
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成17年度から)
予算額	4,304,000 円	決算見込額	4,291,717 円

2 事業の成果等

実施結果 及び成果	<p>区民が快適で利用しやすい窓口環境を整備するため、個人情報保護の取組として、窓口カウンター用仕切りパネルの設置や申請書類記載台の増設した。また、待合用のいす、窓口カウンターの照明、番号発券機の増設と、区役所1階の広報コーナーの更新を実施した。</p> <p>幸区への転入者に対して、「かわさき生活ガイド」「ごみカレンダー」等の情報誌を一括して入れて配布するため、転入者歓迎封筒を作成した(1万枚)。</p>	
	 <p style="text-align: center;">カウンター仕切りパネルと記載台</p>	 <p style="text-align: center;">転入者歓迎用封筒</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題 (平成19年度実施及び20年度計画策定の方向)
見直し・改善の上継続 平成19年度終了見込み 終了(平成18年度終了)	来庁者アンケートなどにより整備効果の把握を検討する。 転入者歓迎封筒の作成について、広告入り寄付封筒の活用を図り、市民サービス効果を維持しながら、経費の節減を検討する。

平成18年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
4 - (3)	シンボルマーク普及事業	地域振興課

1 事業の概要

目的及び 事業内容	平成4年に制定された幸区のシンボルマークの普及を推進し、幸区のイメージアップを図る。		
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成5年度から)
予算額	983,000 円	決算見込額	98,773 円

2 事業の成果等

実施結果 及び成果	各種スポーツ大会の優勝カップのレプリカを作製し、授与することにより、幸区のシンボルマークの普及を推進した。(幸区少年野球春季大会、幸区町内会対抗バレーボール大会、幸区子ども会連合会少年野球大会、幸区町内会対抗グラウンドゴルフ大会、幸区町内会対抗男子ソフトボール大会。各種大会に、のべ1,500人が参加)	
	 <p style="text-align: center;">少年野球大会で贈呈</p>	 <p style="text-align: center;">子ども会少年野球大会で贈呈</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題 (平成19年度実施及び20年度計画策定の方向)
見直し・改善の上継続 平成19年度終了見込み 終了 (平成18年度終了)	区長杯レプリカへのシンボルマーク表示は継続するが、平成20年度からシンボルマーク表示のグッズ作成は終了し、区役所各課が作成している配布物等にシンボルマークを表示する見直しを検討する。

平成 1 8 年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
4 - (4)	情報発信推進事業	総務企画課

1 事業の概要

目的及び 事業内容	<p>区のホームページを区民にとってより必要な情報が掲載されていて情報が得やすいようにするホームページリニューアルを行うとともに、職員への情報化の研修体制を整備し、ホームページの内容充実に向けた意識改革を図る。</p>		
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成 1 6 年度から)
予算額	1,082,000 円	決算見込額	1,053,150 円

2 事業の成果等

実施結果 及び成果	<p>ホームページのトップページのデザインとレイアウトをリニューアルするとともに、その他のページのメンテナンスを行った。円滑にホームページ作成・更新を行うため職員研修を実施した(2回、約30人参加)。 また、幸区への転入者に区民生活に必要な情報の入手方法を周知するため、「幸区情報発信リーフレット」を作成した(1万部)。</p>	
	 <p>区ホームページ</p>	 <p>幸区情報発信リーフレット</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題 (平成 19 年度実施及び 20 年度計画策定の方向)
見直し・改善の上継続 平成 19 年度終了見込み 終了 (平成 18 年度終了)	より効果的な広報方法を検討する。 達成度が客観的に測れるよう、アンケートを実施するなど指標の設定を検討する。

平成 1 8 年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
4 - (5)	区民広聴の拡充事業	総務企画課

1 事業の概要

目的及び 事業内容	区民会議の実施状況を広報するとともに、区民ニーズを把握して施策などに反映するため区民アンケート調査を実施する。		
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成 1 5 年度から)
予算額	2,909,000 円	決算見込額	2,632,037 円

2 事業の成果等

実施結果 及び成果	<p>アンケート回答はがき付きのリーフレット（区民会議の紹介）を区内の全世帯に配布する方法で、区民会議への意見や地域課題等についてのアンケート調査を行い、416 件の回答があった。</p> <p>アンケート速報結果について、「区民会議だより（リーフレット）」を作成して区内の全世帯に配布した。</p>	
	 区民アンケート	 区民会議だより4号

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題（平成 19 年度実施及び 20 年度計画策定の方向）
見直し・改善の上継続 平成 19 年度終了見込み 終了（平成 18 年度終了）	広報内容の充実を図る。 アンケートの回収率を上げる方策を検討する。

平成 1 8 年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
4 - (6)	駅前周辺案内地図改訂事業	地域振興課

1 事業の概要

目的及び 事業内容	尻手駅、鹿島田駅及び新川崎駅にある駅前案内板の周辺地図を改訂し、区民の利便性向上を図る。			
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成 年度から)
予算額	1,171,000 円	決算見込額	708,750 円	

2 事業の成果等

実施結果 及び成果	尻手駅周辺案内地図は掲示情報が古いため、再作製した。 鹿島田駅周辺案内地図及び新川崎駅周辺案内地図は、都市再開発等が現在進行中のため再作製は行わず、それぞれ部分修正した。	
	 <p style="text-align: center;">鹿島田駅</p>	 <p style="text-align: center;">尻手駅</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題 (平成 19 年度実施及び 20 年度計画策定の方向)
見直し・改善の上継続 平成 19 年度終了見込み 終了 (平成 18 年度終了)	平成 19 年度は矢向駅前周辺案内地図と市立商業高校前周辺案内地図について、改訂を実施する。

平成18年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
4 - (7)	保健福祉情報発信事業	地域保健福祉課

1 事業の概要

目的及び 事業内容	保健福祉センターの保健・福祉サービス等の内容を掲載した情報誌「保健福祉センターだより」を作成する。区内の全世帯に配布することにより、区民の保健福祉に関する関心と理解を深めるとともに利便性を高める。		
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成 年度から)
予算額	3,253,000 円	決算見込額	2,836,889 円

2 事業の成果等

実施結果 及び成果	保健福祉センターだよりの上半期は、保健福祉センター業務内容の紹介と問合せ先一覧を掲載した。 下半期は「今、区民の方にもっとも伝えたいこと」をテーマにし、保健・福祉サービス等の事業案内や日程などを掲載した。半期ごとに6万4千部を作成し区内の全世帯に配布した。	
		
	保健福祉センターだより (上半期)	保健福祉センターだより (下半期)

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題 (平成19年度実施及び20年度計画策定の方向)
見直し・改善の上継続 平成19年度終了見込み 終了 (平成18年度終了)	保健福祉センターだよりをホームページに掲載することを検討する。 より達成度が客観的に測れるよう、アンケートを実施するなど指標の設定を検討する。

平成18年度幸区協働推進事業 実施結果

番号	事業名	所管課
4 - (8)	さいわいイメージアップ事業	総務企画課

1 事業の概要

目的及び事業内容	第3回アメリカンフットボールワールドカップ2007川崎大会が、平成19年7月に川崎球場・等々力陸上競技場を試合会場に開催されることから、会場への交通アクセスの利便性が高い幸区内の主要箇所ToWorldカップ開催を広報する看板や横断幕を設置し、大会への周知関心を高めるとともに、幸区のイメージアップを図る。			
	新規(当初予定事業	追加事業)	継続(平成 年度から)
予算額	834,000 円	決算見込額	763,455 円	

2 事業の成果等

実施結果及び成果	鉄道利用者を対象に、ワールドカップ開催を広報する大型看板をJR南武線の川崎駅・尻手駅間線路沿い1か所に設置した。交通量が多く、見通しの良い歩道橋(さいわい歩道橋3か所、大宮中幸町線歩道橋1か所)に横断幕を掲示した。		
	 <p>さいわい歩道橋(横断幕)</p>	 <p>南武線沿い(大型看板)</p>	

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題(平成19年度実施及び20年度計画策定の方向)
見直し・改善の上継続 平成19年度終了見込み 終了(平成18年度終了)	ワールドカップ川崎大会の終了(19年7月)により、ワールドカップを活用した事業としては終了する。

平成 1 8 年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
5 - (1)	安全・安心まちづくり普及啓発事業	地域振興課

1 事業の概要

目的及び 事業内容	区民が安全に安心して暮らせるまちづくりを推進するため、防犯教室を実施するなど、「自分の身は自分で守る」、「自分たちのまちは自分たちで守る」という自助・共助の取組を支援する。		
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成 1 7 年度から)
予算額	431,000 円	決算見込額	430,500 円

2 事業の成果等

実施結果 及び成果	19 年 1 月に県くらし安全指導員を講師として招き、防犯教室を開催し、町内会・自治会から 50 人の区民が参加した。 また、18 年 10 月に鹿島田駅頭において街頭キャンペーンを実施した。	
		
キャンペーン用ポスター		

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題 (平成 19 年度実施及び 20 年度計画策定の方向)
見直し・改善の上継続 平成 19 年度終了見込み 終了 (平成 18 年度終了)	平成 19 年度は青色回転灯を利用したパトロール活動に重点的に取り組む。

平成 18 年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
5 - (2)	交通安全の普及啓発事業	地域振興課

1 事業の概要

目的及び 事業内容	正しい交通ルールと交通マナー等の交通安全知識を区民一人ひとりに普及し、交通安全意識の高揚を図り、交通事故のない安全で住みよい幸区を実現するため、普及啓発事業を実施する。			
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成 年度から)
予算額	504,000 円	決算見込額	462,000 円	

2 事業の成果等

実施結果 及び成果	自転車による交通事故の防止を図るため、交通安全への注意喚起を促す電柱幕を作成し町内会・自治会を通じて配布した(電柱幕 41 本)。	
	電柱幕	

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題 (平成 19 年度実施及び 20 年度計画策定の方向)
見直し・改善の上継続 平成 19 年度終了見込み 終了 (平成 18 年度終了)	交通事故防止に向けて引続き取り組む。 より達成度が客観的に測れるよう、アンケートを実施するなど 指標の設定を検討する。

平成 1 8 年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
5 - (3)	さいわい・自転車との共生のまちプロジェクト (自転車放置区域内啓発看板設置)	地域振興課

1 事業の概要

目的及び 事業内容	<p>自転車等放置禁止区域内に、看板や路面表示シートを設置することにより、自転車等の放置防止や駐輪場への誘導を自転車利用者へ啓発する。</p>		
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成 1 7 年度から)
予算額	1,596,000 円	決算見込額	1,254,750 円

2 事業の成果等

実施結果 及び成果	<p>自転車等放置が特に多い場所に、放置禁止看板及び路面表示シート (各 30 枚) を設置して、自転車利用者への啓発を図った。</p>	
		
<p>放置禁止看板</p>		

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題 (平成 19 年度実施及び 20 年度計画策定の方向)
見直し・改善の上継続 平成 19 年度終了見込み 終了 (平成 18 年度終了)	19 年度については、放置自転車禁止区域の啓発を継続して行い、町内会等と連携した取り組みを進める。

平成 18 年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
5 - (4)	さいわい健全で安全な食生活推進プロジェクト	地域保健福祉課 衛生課

1 事業の概要

目的及び 事業内容	食に関する知識と食を選ぶ力を身に付けるための「食育」を推進するため、地域の状況に応じた取組を図るため、関係機関や団体のネットワークをつくり、食育シンポジウムを実施する。また、高齢者の食中毒予防を図るため、家庭における食生活及び食品衛生の指導・啓発を推進する。		
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成 17 年度から)
予算額	652,000 円	決算見込額	628,510 円

2 事業の成果等

実施結果 及び成果	<p>平成 19 年 1 月、食育シンポジウムを開催した (参加者 47 人)。食育に係る関係機関や団体と一般市民が意見交換を行い、地域全体で食育に取り組んでいくことの必要性を確認した。また、食育の講習会を年 3 回開催 (のべ 69 人参加) した。</p> <p>平成 17 年度に作成した小冊子「我が家の食品衛生」を 4,000 部増刷し、街頭食中毒予防キャンペーンや衛生講習会等で配布した。平成 19 年 2 月、独居老人等に配食・会食を行っているボランティア団体を対象に、小冊子を活用した食中毒予防の衛生講習会を開催した (区内で活動する 19 団体のうち 12 団体が参加)。</p>		
	 <p>食育シンポジウム</p>	 <p>我が家の食品衛生</p>	

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題 (平成 19 年度実施及び 20 年度計画策定の方向)
見直し・改善の上継続 平成 19 年度終了見込み 終了 (平成 18 年度終了)	食育については、20 年度から市の事業の食育推進事業に移行し、協働推進事業としては終了する。

平成 18 年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
5 - (5)	8020 運動・小学生啓発プロジェクト	地域保健福祉課

1 事業の概要

目的及び 事業内容	乳歯と永久歯が混合している小学生の年頃から、口腔の健康を正確に認識し、口腔の健康の保持・増進に強い関心を持つことで、虫歯等の口腔疾患の予防・早期発見に役立てるため、小学生とその親を対象として、実習を兼ねた健康教室を実施する。		
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成 17 年度から)
予算額	393,000 円	決算見込額	392,800 円

2 事業の成果等

実施結果 及び成果	平成 18 年 7 月、健康教室「お口の中を楽しく学ぼう」を、幸区歯科医師会と協働で実施し、親子 54 人が参加した。 参加者アンケートの結果では、全員が「楽しく学べた」としており、参加者の満足度は高かった。	
	 <p style="text-align: center;">健康教室「お口の中を楽しく学ぼう」</p>	 <p style="text-align: center;">製作した歯型</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題 (平成 19 年度実施及び 20 年度計画策定の方向)
見直し・改善の上継続 平成 19 年度終了見込み 終了 (平成 18 年度終了)	学校との連携を検討する。 費用対効果を検討する。

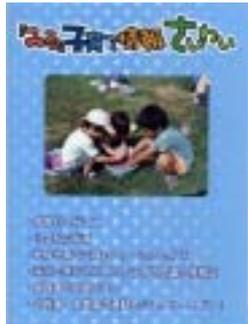
平成 18 年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
5 - (6)	こども総合支援推進事業	こども総合支援担当

1 事業の概要

目的及び事業内容	子育て家庭の育児不安を解消し、安心して子どもを育てることができる社会をめざして、総合的な子育て支援体制を確立し、地域全体で子育てを支援する環境づくりを進める。区内のこども支援に係る機関や行政によるネットワークを構築し、相互に連絡調整機能の強化を図るとともに、子育て関連情報紙を提供する。			
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成 年度から)
予算額	1,726,000 円	決算見込額	1,144,579 円	

2 事業の成果等

実施結果及び成果	<p>平成 19 年 2 月、子育てを行っている親と地域で子育てを支援する団体・ボランティアとの交流を図るため、「みんなで子育てフェアさいわい」を開催した(延べ 421 人参加)。</p> <p>父親の育児参加を支援するため、地域子育て支援センターふるいちばの第 3 土曜日開設を平成 18 年 5 月から試行実施した。試行開設当初の 18 年 5 月と比較して、19 年 3 月では父親の参加率が 7 % 上昇した。</p> <p>「こども総合支援ネットワーク会議」を年 3 回、その部会である「こども支援推進会議」を年 5 回開催した。各機関の役割分担と連携、情報の共有化を図った。</p> <p>また、未就学児を対象とした子育て情報紙『「みる」子育て情報さいわい』を年 2 回(9 月、3 月、各 8,000 部)を発行した。</p>		
	 <p style="text-align: center;">みんなで子育てフェアさいわい</p>	 <p style="text-align: center;">『みる』子育て情報さいわい</p>	

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題 (平成 19 年度実施及び 20 年度計画策定の方向)
見直し・改善の上継続 平成 19 年度終了見込み 終了(平成 18 年度終了)	<p>情報紙の作成について、より達成度が客観的に測れるよう、アンケート実施などを検討する。</p> <p>「『みる』子育て情報さいわい」と子育てガイドブック「おこさまっぴー さいわい」などとの役割を整理して、より効果が発揮できるように検討する。</p>

平成 1 8 年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
5 - (7)	幸区子育てガイドブック作成事業	保健福祉サービス課

1 事業の概要

目的及び 事業内容	区内の育児に関する情報をわかりやすく提供する子育てガイドブック「おこさまっぷさいわい」を、改訂・増刷する。		
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成 1 5 年度から)
予算額	2,079,000 円	決算見込額	2,073,846 円

2 事業の成果等

実施結果 及び成果	子育てガイドブック「おこさまっぷ さいわい」を作成、配布した（平成 18 年 10 月に 5 千部、平成 19 年 2 月に 3 千部）。また、遊具やトイレ等に変更のあった公園の情報や新たにスタートした子育てフリースペースの情報を加えるなど内容の充実を図った。		
	おこさまっぷ さいわい		

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題（平成 19 年度実施及び 20 年度計画策定の方向）
見直し・改善の上継続 平成 19 年度終了見込み 終了（平成 18 年度終了）	<p>区民のニーズを確認して、保育所や小児科についての情報提供を検討する。</p> <p>「おこさまっぷ さいわい」のホームページ掲載を検討する。また、次期改訂までの期間はホームページで更新情報が見られるようにすることを検討する。</p>

平成18年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
5 - (8)	身近な防災推進事業 (第3期まちづくり推進委員会の取組み)	地域振興課

1 事業の概要

目的及び 事業内容	地域防災を中心とした調査・研究や実践活動を行ってきた「まちづくり推進委員会ご近所の底力！まちの改善部会」の活動成果を踏まえ、避難時に想定される避難路や避難場所等を掲載した避難マップを作成し、区民の防災意識の高揚を図る。			
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成 年度から)
予算額	966,000 円	決算見込額	945,000 円	

2 事業の成果等

実施結果 及び成果	災害時の対応や地域防災力強化に向けた提案等を掲載した冊子「区民がつくるまちの防災力」を作成した(6,000部)。冊子の普及により地域防災意識向上の効果が見込まれる。	
	 <p style="text-align: center;">部会での検討の様子</p>	 <p style="text-align: center;">区民がつくるまちの防災力</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題 (平成19年度実施及び20年度計画策定の方向)
見直し・改善の上継続 平成19年度終了見込み 終了(平成18年度終了)	冊子「区民がつくるまちの防災力」を活用する。

平成18年度幸区協働推進事業 実施結果

番号	事業名	所管課
5 - (9)	地域防災啓発事業	総務企画課

1 事業の概要

目的及び事業内容	区民の防災知識の普及・啓発、防災意識の高揚を図るため、地域防災活動を担う各種団体と連携して、幸区防災フェアを実施する。			
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成 年度から)
予算額	365,000 円	決算見込額	310,800 円	

2 事業の成果等

実施結果及び成果	平成19年1月に「幸区防災フェア」を開催した。幸市民館ロビーで地域防災活動を担う各種団体の訓練活動風景等のパネル展示を行った。また、危機管理アドバイザーのよる講演会を実施し、地域防災活動を担う各種団体（町内会、日赤奉仕団、消防団、民生委員協議会、自主防災組織など）のメンバーを含めて118人の参加があった。各種団体間相互の連携や協力体制の必要性について共通の認識を図った。			
	 <p>川崎市危機管理アドバイザーの講演</p>	 <p>パネラーによるリレートーク</p>		

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題（平成19年度実施及び20年度計画策定の方向）
見直し・改善の上継続 平成19年度終了見込み 終了（平成18年度終了）	防災意識の高揚・啓発事業を通して、地域防災活動の実践的取り組み、共助の体制づくりを進める。

平成 18 年度幸区協働推進事業 実施結果

番 号	事 業 名	所 管 課
5 - (1 0)	健康づくりふれあい講演会等実施事業	総務企画課

1 事業の概要

目的及び 事業内容	区民会議の審議テーマの一つである「健康で生きがいのもてる地域づくり」に関連する講演会を実施して、区民会議と健康づくりについての広報を行う。また、講演会の参加者にアンケート調査を行い区民会議の審議資料として活用する。		
	新規 (当初予定事業	追加事業)	継続 (平成 年度から)
予算額	800,000 円	決算見込額	798,000 円

2 事業の成果等

実施結果 及び成果	平成 19 年 3 月、ラゾーナ川崎プラザソルで健康づくりふれあい講演会を開催 (参加者 104 人)。日ごろからの健康づくりや介護予防の必要性について情報発信した。参加者へのアンケート調査の実施、高齢者の健康づくりへの意識やニーズを把握し、区民会議での審議資料として活用した。	
		
健康づくりふれあい講演会 (ラゾーナ川崎プラザソル)		

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	今後の展開方向・主な課題 (平成 19 年度実施及び 20 年度計画策定の方向)
見直し・改善の上継続 平成 19 年度終了見込み 終了 (平成 18 年度終了)	19 年度の区民会議での審議などを踏まえ、今後の事業展開を検討する。